



2013年5月30日

お客様向け資料

BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

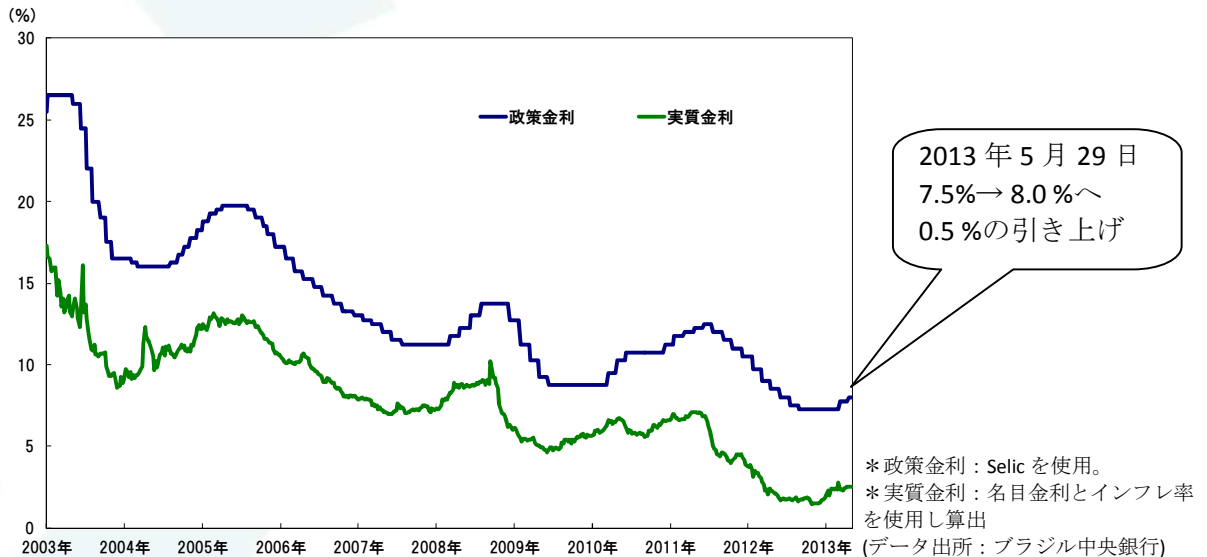
ブラジルの政策金利の引き上げについて

ブラジル中央銀行は、現地 2013 年 5 月 28 日・29 日の両日に開催された COPOM（定例金融政策委員会）において、Selic（政策金利）の 0.5% 引き上げを決定しました。これによりブラジルの政策金利は年率 8.0% となりました。ブラジル中央銀行は、前回 4 月の会合に続けての利上げとなりました。

前回の会合でもブラジル中央銀行のトンビニ総裁は「インフレを断固阻止」という強いトーンでインフレ抑制姿勢を示し、その後もインフレへの警戒を示す発言を継続していたことや、最近のブラジル中央銀行のメンバーからの政策金利の調整を継続していくとの発言などが既に出ており、今回政策金利を 8.0% へ引き上げる事を全会一致で決定した模様です。今回、金融政策委員会は、この決定がインフレ率を低下させ、そのトレンドを来年も継続させることにつながるとの声明を発しております。市場では利上げ自体は広く予想されておりました。

30 日のブラジル市場は休日であり、明けて 31 日の株式・債券・為替市場は、いずれも現時点では今回の利上げによる影響は限定的であると考えられますが、今後、市場に対する影響を見極めてまいります。

＜ブラジル政策金利と実質金利の推移＞
(2003年2月1日～2013年5月29日)



本資料は、BNP パリバアセットマネジメントブラジルが作成した資料をもとに、BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が、ブラジル市場に関する当社の見解および「BNP パリバ・ブラジル・ファンド」に関する情報を提供することを目的として、上記の時点に作成したものであり、法律に基づいた開示資料ではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の数値、図表、見解や予測などは本資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。尚、本資料中の過去の実績に関する数値、表、見解や予測などを含むいかなる内容も将来の運用成績を保証するものではありません。